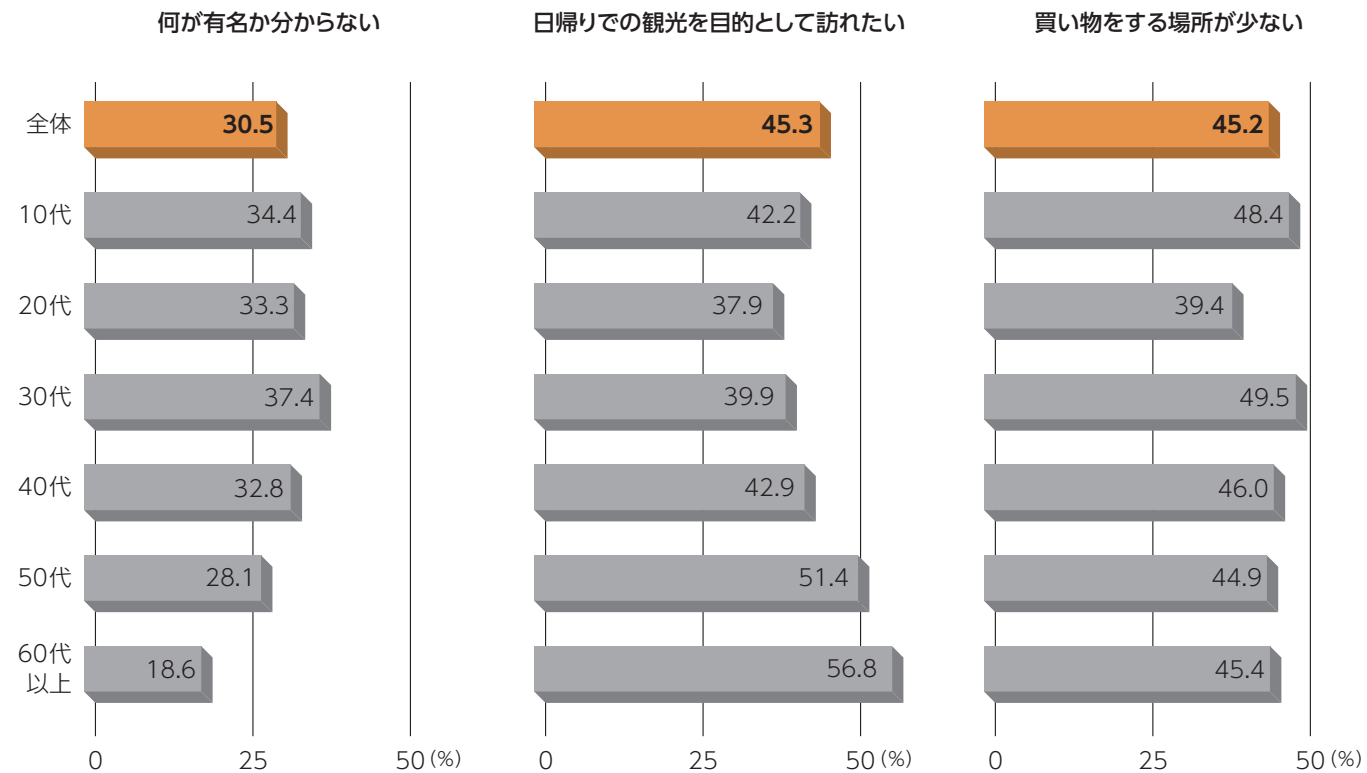


2.現状と課題

4 市民に 大津の魅力を より知ってほしい

観光による地域の活性化において、市民がその地域の良さを実感し誇りを持ち、アピールをする事がとても大切であると考えています。平成28年度の調査によると、約30%の市民が「何が有名かわからない」と回答していました。前述の大津市の強みが、市民にとっては当たり前すぎて気付かない状態になっていると考えられます。また10代～30代においては、大津市の歴史や観光地・アピールポイント・名物やお土産品などについて普段意識することが少ない傾向が強いことが分かりました。

大津市にあてはまると思うイメージについて：大津市民に対して、大津市の持つ観光資源のイメージについて聞いたインターネット調査結果を示しております。

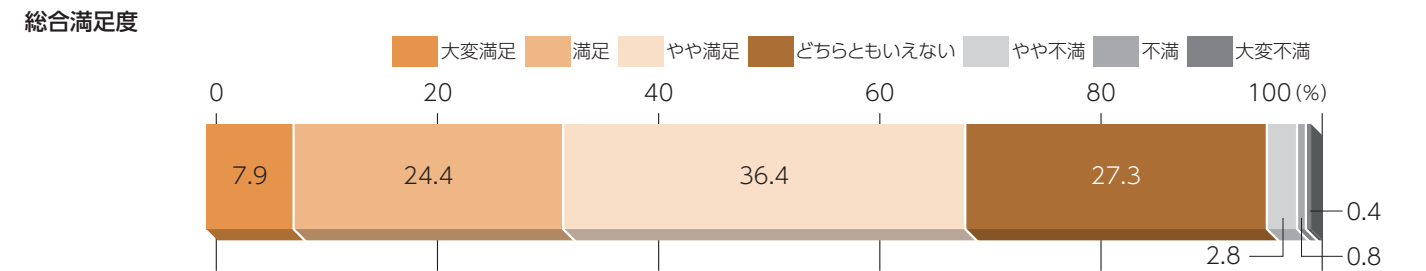


平成28年度大津市市民意識調査から出典

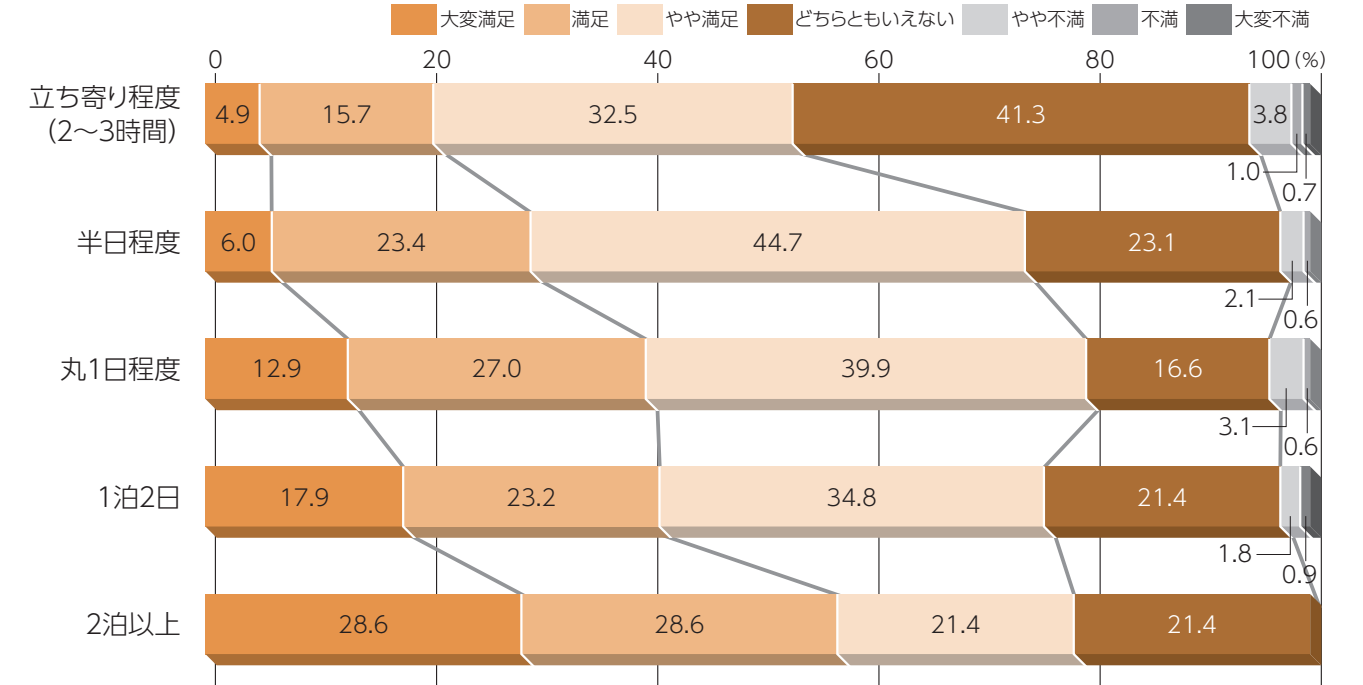
5 来訪者の 満足度が低い

観光による地域の活性化のためには、来訪者に満足していただくことがポイントとなります。満足をすることでその人がまた来訪をしてくれるだけではなく家族や知人におすすめをしてくれるという効果もあり、さらには、ソーシャルメディアなどの媒体によってより多くの人にその観光地の良い情報が行き渡るようになります。平成28年(2016年)の調査によると、大津市の来訪者満足度は、「大変満足」「満足」を合わせた数値が32.3%と低いことが分かりました。また滞在時間が長いほど、大津の魅力をじっくりと味わっていただき、地元の方との交流も生まれやすいことから、満足度が大きく上昇することも分かっています。

大津市への来訪満足度：大津市への来訪者に対して、満足度について聞いたインターネット調査結果を示しております。



旅行形態ごとの満足度

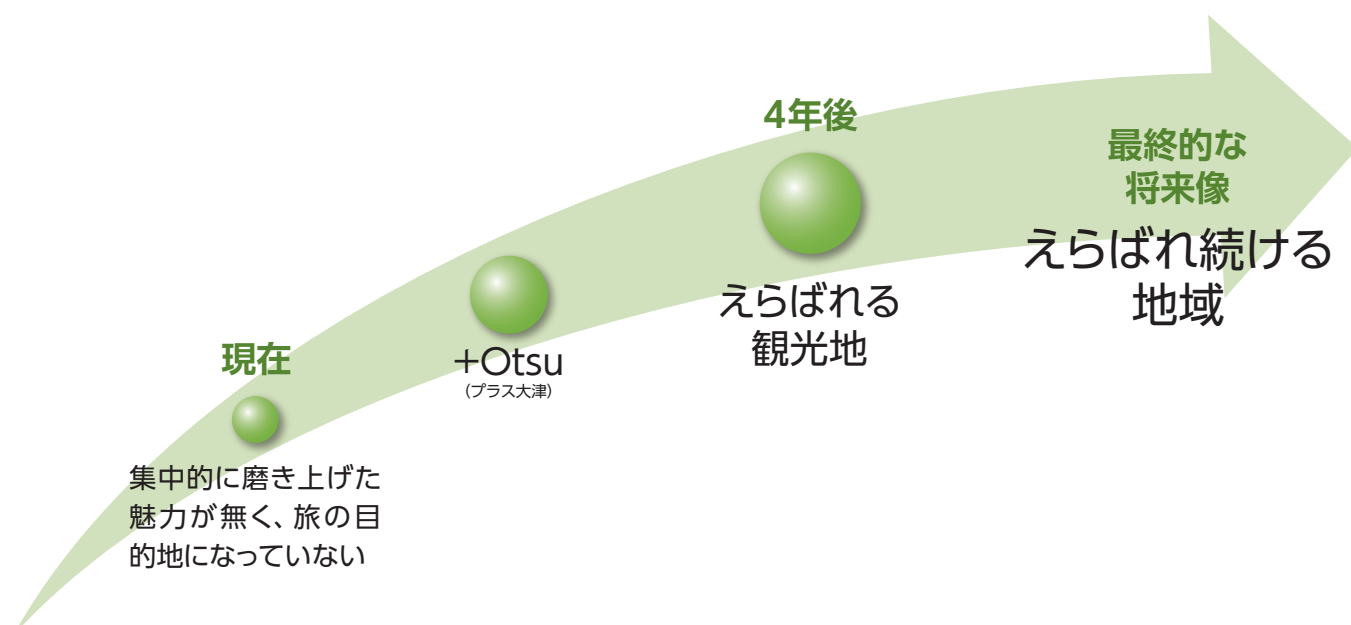


平成28年度大津市来訪者満足度調査から出典

課題1から課題5の結果から、大津市は観光地としての魅力が見えづらいため、多くの人の「旅の目的地となっていない」ということが考えられます。一方で観光地としての魅力の原石は数多く、それらを磨き上げていくことで日本・大津市の人口減少といった観光を取り巻く厳しい環境の中でも「えらばれる観光地」として成長し続けることが出来ると思っています。

3.目指す姿

大津市がどのような観光地を目指していくのかを、より具体的にするために「目指す姿」を設定しました。



+Otsu (プラス大津)

近隣の他地域と差別化できる「大津ならではの良さ」の中から「びわ湖・大津といえばこれ」という多くの人に知られる観光資源（観光スポット・名産品・体験など）が生まれ、世界的に有名な京都や大阪の観光に大津をプラスするという考え方が広まり、国内外からの多くの来訪者が目的を持って大津を訪れている状態。

えらばれる観光地

目的を持って大津を訪れた方が、大津ならではの良さに満足し、再来訪される方やより長く滞在される方が増えている状態。

より長く滞在し、大津ならではの魅力を存分に堪能することで、消費単価が上がり、観光地として高い経済効果を生み出している。また市民は、来訪者との交流を通じて新たな地域の魅力に気づかされ、大津への愛着を深めている。

えらばれ続ける地域

「観光地として」えらばれるだけでなく、「この人に会いに行く」といった市民との交流など、観光以外の目的でもリピートされる方を増やし、大津を第二のふるさとのように感じていただけるコアなファンを創出し、「地域として」えらばれ続ける状態。

観光事業者にとどまらず、地域の様々な事業者が活気付いており、それぞれのエリアがにぎわっている状態。また市民も、愛着を持っている大津の魅力について、市外の方に積極的に発信し、来訪者をあたたかく迎えている状態。

「大津ならではの良さ」について

目指す姿である「+Otsu」や「えらばれる観光地」の中でも掲げているとおり、「目的を持って大津を訪れていただく」ためには、他の観光地と差別化できる「大津ならではの良さ」を選定し、「びわ湖・大津といえばこれ」と誰もが思い浮かべられるような魅力に育てる必要があります。

本計画では「オンリーワンのびわ湖」を基調とした3つのテーマを選定し、今後テーマに沿って様々な施策に取り組めます。

「大津ならではの良さ」



3.目指す姿

テーマ 1

びわ湖リゾート

湖畔のゆったりした時間、水辺のカフェ、リゾートホテル、温泉、水泳場での湖水浴、クルージング、豊かな食文化など、疲れを癒し健康を増進することを目的としたリゾート型の滞在を柱とする。

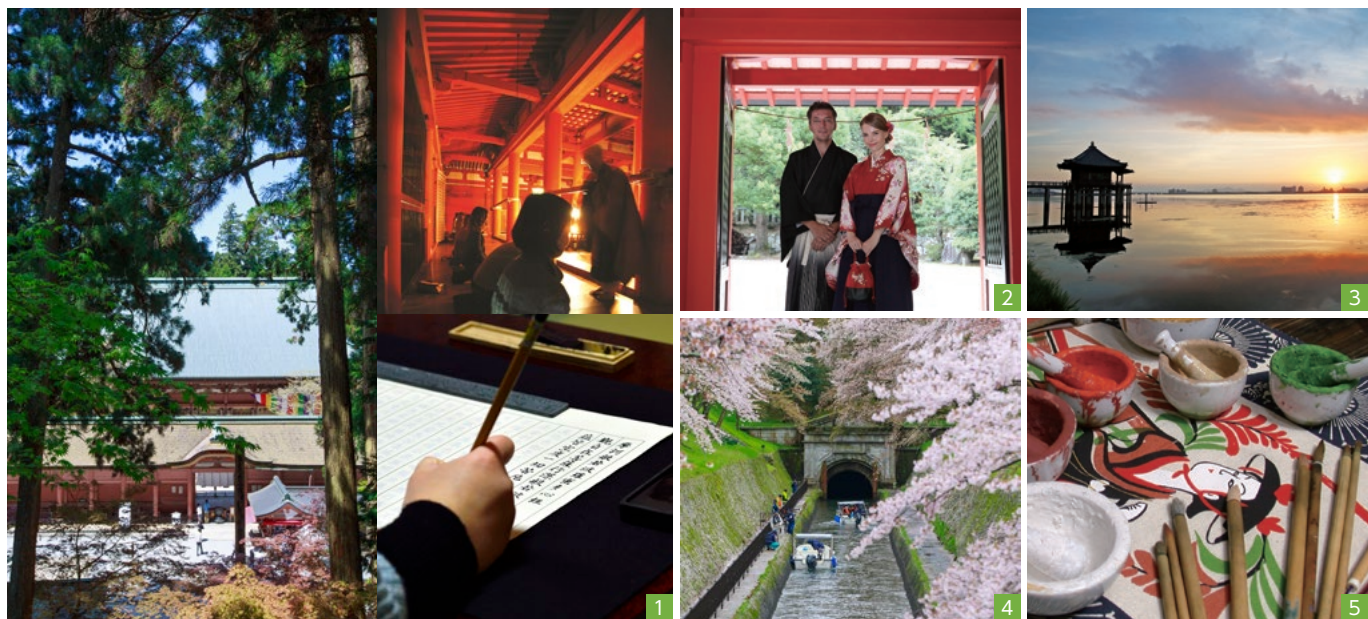


1.白砂青松のビーチ 2.おごと温泉 3.びわ湖テラス 4.クルーズ 5.ご当地グルメおかつ近江米カレー

テーマ 2

歴史・文化体験の宝湖

世界遺産、日本遺産をはじめとした社寺や琵琶湖疏水通船など、びわ湖と密接に関連する歴史を感じ、伝統的な和菓子作りやかたるた・大津絵・俳句・源氏物語といった水辺で育まれた文化を体験できる。



1.比叡山延暦寺 座禅・写経体験 2.近江神宮 着物体験 3.浮御堂 4.琵琶湖疏水通船 5.大津絵

テーマ 3

スポーツ観光の聖地

日本一大きなびわ湖の広さを体感するビワイチをはじめとした湖畔でのサイクリング・ランニング・ウォーキングのほか、ウィンタースポーツ・ウォーターアクティビティ・トレッキングを満喫できる。



1.湖畔でのサイクリング 2.パラグライダー 3.スキー 4.SUP 5.トレッキング
一部画像提供 (公社)びわこビジターズビューロー

テーマ選定の視点

前述の大津市の7つの強みをはじめ、数多くある観光地としての魅力の原石から、「大津ならではの良さ」として3つのテーマを選定する際に、下記の5つの視点を用いました。

魅力の原石

- 1 びわ湖
- 2 京都や大阪からのアクセスの良さ
- 3 湖の他、山や川など豊かな自然
- 4 世界遺産や日本遺産をはじめとした、深い歴史
- 5 宿泊施設が多く、海外からの来訪者を含めた宿泊者数の増加
- 6 泉質の良い温泉
- 7 四季を通じて楽しめるアクティビティ など…

選定

- 視点1 訪日外国人に対し訴求力があること※
- 視点2 大津の独自性があり、他地域と差別化できること
- 視点3 歴史や伝統、文化を大切にし、市民の生活と共存すること
- 視点4 付加価値が高く、自走できること
- 視点5 絵空事でなく、実現可能であること

大津ならではの良さ

テーマ 1

びわ湖リゾート

テーマ 2

歴史・文化体験の宝湖

テーマ 3

スポーツ観光の聖地

※ 国内からの来訪者への取り組みを継続することはもちろんのこと、訪日外国人にとって魅力的なものを今までに無かった切り口で選定し、磨き上げるという視点